

平成24年死亡災害発生状況

福井労働局

番号	発生月	業種	事故の型	起因物	年代	職種	発生状況
1	1月	建設業 (電気通信工事業)	転倒	フォークリフト	30歳代	電工	被災者は、フォークリフトを使用して事業場の駐車場の除雪を行っていたところ、右前輪が傾き運転席から放り出され、その上にフォークリフトが倒れてきて、下敷きとなり、9日後に死亡したものの。
2	1月	製造業 (製材業)	はさまれ、 巻き込まれ	コンベア	40歳代	製材工	被災者は、コンベア上に残った木材を排出するため、コンベアとコンベアの間(約30cm)に入って作業していた際、別の作業員が被災者の前方のコンベア上の木材をフォークリフトで搬出したところ、センサーが反応して後方のコンベアが稼働し、その上の木材(約2t)が被災者の方へ動き、この木材と前方のコンベアのローラーとの間に挟まれ、死亡したものの。
3	3月	その他の事業 (その他)	交通事故	トラック	40歳代	作業員・ 技能者	被災者が軽ワゴン車を運転していたところ、対向車線を走行してきたトラックが車線をはみ出して来たために、正面衝突となったものの。
4	7月	建設業 (橋梁建設工事業)	墜落、転落	支保工	50歳代	その他の 作業員	被災者は、土止め支保工の設置のため、腹おこしの上に乗ってハンマーで切り梁と腹おこしを繋ぐ部分を叩いて締めていたところ、ハンマーを空振りした際、腹おこしから5.6m下の川に墜落し、死亡したものの。
5	8月	林業 (木材伐出業)	激突され	立木等	70歳代	伐木・造林 作業員	被災者は、樹高24m、胸高直径52cmの杉の木を伐採するため、当該立木と既に伐倒済の伐倒木とにワイヤロープをかけ、「つる」を残した状態の当該立木をチルホールで引っ張って倒していたところ、退避が遅れ、伐採した立木に激突され死亡したものの。
6	9月	商業 (その他の卸売業)	交通事故	乗用車	30歳代	配達員	被災者が商品を配送するために自動車を運転し、交差点を直進していたところ、右折してきた軽自動車と衝突し、そのはずみで被災者の車の運転席側面が信号機柱に衝突し、死亡したものの。
7	11月	製造業 (食料品製造業)	高温・低温の 物との接触	その他の 装置、設備	50歳代	製造作業員	被災者がタンク内の液体の液面の高さを踏み台に乗り確認中、発生する泡で液面の高さが確認できないため、泡を取り除こうとタンク内に身を乗り出して金網ですくい取っていたところ、体のバランスを崩し、タンク内に転落。タンク内の液体が高温であったため全身熱傷を負い、その後に死亡したものの。
8	11月	建設業 (電気通信工事業)	墜落、転落	その他の仮設物 建築物、構築物等	50歳代	電工	被災者は、可搬式作業台(高さ1.7m)の上で中腰の状態電線管に墨付けを行い、可搬式作業台の上でしゃがんで右に体をひねるようにして、横で控えていた作業員に電線管を手渡した。手渡された作業員が被災者に背を向けて別の場所へ移動していたところ、物音がしたため、近くにいた他の作業員がその方向を見ると、可搬式作業台の傍で被災者が倒れていた。意識不明であったが、翌月に死亡したものの。